

2015年10月13日

東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動リスクコンサルティング株式会社

「データヘルス支援サービス」の提供開始について
～富士通と共同で企業の健康経営に向けた取組みを支援～

東京海上日動火災保険株式会社（社長 永野 毅、以下「当社」）は、グループ会社の東京海上日動リスクコンサルティング（社長 安田 成喜、以下「TRC」）を通じ、企業および健康保険組合向けに、健康診断やレセプトなどの健康・医療情報を分析し、効果的・効率的な保健事業の計画策定・実行を支援する「データヘルス支援サービス」の提供を開始することといたしました。

1. 開発の背景

当社は、企業にお勤めの皆様の福利厚生の充実を通じて、「お客様の『いざ』というときをお守りする」ため、保険商品や各種サービスを提供してまいりました。

昨今、少子高齢化の進展による生産人口の減少、情報化社会による業務の高度化などの社会環境の変化を受け、企業経営にとって、従業員一人一人の労働生産性の維持・向上に向けた健康維持・増進の重要性が一層高まっており、「健康経営※1」に取り組む企業が増加しています。また、企業による「健康経営」推進には、健康保険組合が策定・実施する「データヘルス計画※2」をより効果的・効率的なものとしていくことが重要となります。

このような環境変化を踏まえ、当社及び TRC は企業および健康保険組合が有する健康診断やレセプトなどの健康・医療情報を活用し、効果的・効率的な保健事業の計画策定・実行を支援する「データヘルス支援サービス」の提供を富士通株式会社（以下「富士通」）との協業により 10 月から開始することといたしました。

※1 「健康経営」とは、企業が経営戦略の一環として従業員に対する健康施策を企画・実践することによって、労働生産性を高め、企業価値の向上を図る経営。「健康経営」は NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

※2 「データヘルス計画」とは、「日本再興戦略」で定められた国民の健康寿命の延伸に向けた予防・健康管理の推進に関する新しい仕組みとして、全ての健康保険組合に対して、その作成と推進が求められているものです。

2. 「データヘルス支援サービス」の特長

(1) コラボヘルス（企業と健康保険組合の協働）の支援

企業が健康経営を推進するうえで欠かせない健康保険組合との協働を支援します。また、データヘルス計画の策定にあたっては東京大学政策ビジョン研究センター「健康経営研究ユニット」との共同研究による知見を活用し、疾病に関するリスク状態だけではなく、従業員の労働生産性等を定量的に把握することで、最適な資源配分が可能な計画策定を支援いたします。

(2) 多面的なデータ分析の支援

富士通グループが企業・健康保険組合向けに提供してきたデータ分析および健康管理支援サービスに基づくノウハウを活かし、お客様のニーズに合わせ、幅広く多面的な分析を効率的に実施します。

また、コラボヘルスの推進にご活用いただくため、健康保険組合が有するデータ（健康診断データ、レセプトデータ）に加え、企業が保有するデータ（ストレスチェック結果、労働生産性データ等）も活用して現状分析および課題検討を行うことも可能です。

(3) 効果的な PDCA サイクル推進の支援

実効性の高い保健事業を実現するために、保健事業の効果を可視化し、定量的な評価・改善策の検討を行うことが可能な計画策定をご支援します。

また、お客様の現状（事業所毎の特性、これまでの保健事業の実施状況、推進体制等）を把握したうえで、実情に即した計画および評価・振り返り手法をご提案することで、お客様と一体となった取り組みを行います。

3. 今後の展開

企業が健康経営を推進するうえでは、データ分析等による適切な現状把握を進めることで、解決が必要な様々な課題が明らかとなっていくことが想定されます。

東京海上グループは、お客様の健康経営推進を総合的に支援できるパートナーとなることを目指し、既存の各種ソリューション（ストレスチェックサービス等のメンタルヘルス支援、親介護補償特約等の保険商品、仕事と介護の両立セミナーの実施等）の提供を通じて課題解決に向けた支援を行っていくと共に、新たな商品・サービスの開発を進めてまいります。

以上